てもルーステニルト大総称の段郊して眠べられてあるペンシルボニー家館最が態度館群は来る土二月一 日から本度第一窓際の魔部飛は、勿盗鷹部各州におい「過ぎない、鍼米鬼和説の概葉地と」 ・ 東月 一日本州に賺く

メーとして知られる底主点の牙坂 他の活用でリートを取けてあるに優勢だといばれる「ソリト・サウ」イングラント五州とミンガンその ではルースガエルト大統領が、原然は重かにその金級湯池たるニュー て行くが三日午後生時地径の形骸|を示してゐるに對し典和當として

學務課長曾議

て本日の館合ではさきに謹言領南

胸相に質

きのふ民政首脳部會議

來月一日本府に開

るわけたが、我々はもうル氏が完御としてニューディー時よりも適に多数を監禁してゐるとは現和語の地域が相當版はれたことを示す、

し、一瞬の隙速は着と呼かれところとし、一瞬しない感りルーズヴェルト大会

また地方制度及び華宮制度に

一本帝極語論を開始するのは第二回一になる破談である 政府の眞意を

断然リードしてあることは厳ひ難く、一部ではル氏は既に四百票を獲得したと傳へるも投票開始以来半日を結婚したが一般表現金國匠に四、五百萬は他に突破したと見られる、結果はまだ際言由来ならしてもル氏

ル大統領各地で壓倒的勝利

『5一宗を投じたが、その日逸には既に勝利を職債するが如き自信からそである、現和総の地数として機能を終る東部三州でサチュ方ル氏もニューヨークのハイドバークの公命堂で投票を行つたた民は例の変数メップリの失びを見 活職である、ランドン氏も三日カンサス行のインデペンデンスの街で清き一票を投じたが、答照である、東路選択の選問の登録を直出一窓中国直點は撥散してゐるとして別引して買つてもた既優歌は事實でテントン氏は超

テモント、ニューハンプシアの小島では既に阻戮した所もあるがその結果ル氏が干九百州二年フーヴアー氏との一騎打ちの

字を示すものと豫想される、

頭面はこの日 ばかり

5ある文房具版、病院、ホテパのホール等に設けられ選舉人は設治りの投票型で安勢に投票出来るわけである

**総配による際域を発取してあるにも独らす研羅は投票拠に役束する人で非常な緊張を示してある、ニューヨーク市の投票裏は市中東北された通りの除網報の色彩を選尾に記してある、金岡諸市のカソエー、パーその他書類を登る一切の飲た店は投票中は毘査さ** 

敷はリンカーン大統領以來の記錄的數間は全國に亘り三時間の延長や見 投票票場に殺到しつゝ あり、投票締切り時

開館し來非度以降の方針を決定す

**个府局課長** 

ルトである。 ルトに対する國民の真の聲をきかんとするこの一歌で ・ルースに対する國民の真の聲をきかんとするこの一歌で

りしきる家をものともせず投票者は投廠器の異態は網切の機能は高い民態は網切の機能は開びに置し、全國に亘って降級行ミルスフィールドの投票から開発された四十人組定有

総酸運輸投票は三日早朝を期し英部ニューハムブシア州の総酸運輸投票は三日早朝を期し英部ニューティールに對する米國民警告の基際の下さるべき大

ユーデールをめぐり労働階級興奮

ン以來の記錄的投票を示す

大統領選擧行はる

く投票の列

**路館された、紫亜吉田都夏局| 東浦郡、平元線等の** 本府第三部部沿で旧席百四路 定例局長曾議

「日インの

緣

り首相に對して管促されたい 十兩の金を中心にして、窓ひ!」の首相に對して管促されたい 十兩の金を中心にして、窓ひ!」ない。 大は、紫顔四郎をで決するに至らないのは 一楽山、おころ、他歌の三人は、紫顔府の態度は義慢で水だに會翅 『ヘムム』

|朦胧朦胧に飄むり頭を起明| てこれを後是微波すべきではない。人だなアあつしでげすかられ、そ、ちやアねえが。おめえが持つてるり中央助方行歌を暗吹ぶに恥する。において東部内の片点恐術を眠へ、んせんが、何しろ事をすつかり響」とくなア、頂けておくやうなもん。| 「誤那麽誰を開いた、膨上兩相よ。すべきも表だ何らの提案なき今日。 「そりやアもう大意にや遠えござ 「いゝつてことも。推動に客来し内範重掲載、永井録事長等出職態。あれば客祭これを取上げて雕塑と 金ではないか。」 「だつてお朋さん。――」 「たつてお朋さん。――」

特に議會制度改革に関しては図よって就としてはの開放的意能に認む方針を説明しては取る力を報告を言う

英皇帝議會に勅語

示、胖下做罢、柳生仙郎、西

たし、最後に対応朝鮮の施設に就 課員は年度内に補出の質量施済を

大使の問門を見によつて表面化し一名な無数を済ましてをり、

衛一朝政策に南郡哲、領田全體

鮮満一如の實現

| 各種機能・脱穀を各種角度から|| 本水産・栃本の津の各郷長に山名)|| 各種機能・脱穀を各種角度から|| 本水産・栃本の津の各郷長に山名|

**局郡長をして出版せしめてある一務郡長は四日夜、西崎林業郡長は** 

(會賢七盟) 白水で 開催する 京城四高會 大日 (金曜日) 午

天地玄黄

「お手町は如何個人用だな。」

一ない。三十層は第二

こざんせんか。こ

たりやこそ、からたりやこそ、から 森山が創した「塩んせら」 に築めて、くじ ばらだア、あん とせうが、現にあ

**通過國第一軍委員司令官權軍上將** 

丁蝶嶺氏外十五名の一行は特別文

由語版に午餐館を催した 闘する重部の意見を置せるに對し一どうだ他職、あとはまたあとの

高まつて来たのと町田総裁は四日 てはこれを遺憾なりとする意見が

を監視することに意見一致し八時一そつちへ納めちまつたんちや、ちーア

極東問題に御

寮を参考資料として配布ししから「に融する支法は速域器内に衝撃を「総寛革に総する域所の態度につい」提案されたも行戦壁態臨軍域の内 【東京党書】軍部の鎌鐘艦機爬織「興へ同時に連営部度および行数集」

(一明職となったので検察質局は賦予起訴するとに決定、本日中総道大臣内田信道氏は午前十時迄の取割べにより攻節の抜疑いよ

に市ケ谷未決飛粉所に収容することになつた(葛眞は内田氏)

内田氏の被疑點

波南氏の供通に依り昭和十年舉行とが境別常局は際道大臣に指名人に述坐し遍創収容された飛島、鯉=和然たる域造献金であると蘇摩し の茨城縣遊職直削選撃世體たる茨一 とは職務艦眼を利用して収缩した 本協館議合金の一部を収受したこ

陸力全面権に否認したものゝ如く

林法相参内す

【東京電話】林法相は四日午前十

13

Ш

作

こんなにまで

・ 速く二度に三十爾の金を腹の下に 小物の上に伸ばしたおころは、手 むつもりと機関のいく白いまを

一生の健康を勝胃病は

も左右する

肥るべき秋の

す 南だ。ちつとこつちが少ねえが、 北海にもう五南がところ紫楽しねか 北海にもう五南がところ紫楽しね そんなら先づ辛掴の出來わえこと にルタカ胃腸

ける近道に 勝と胃を强く

ルプあり

带那 (る時にやす、 心だか知れや 郭







に立てにやアならないお余テんだしやどうしても、右から左一いけないよ。――いけませんと、一つのはませんと、

醫侍前省內宮 製創士博村柏

に、 いきなり二十五瀬も選ぶんだ。 た いきなり二十五瀬も選ぶんだ。 た く、選がさう疑めるやうなら、こ でもあたしや三十層のお介がいた。ど う五雨やつとくんなせえ~し。 田の旦那はともか さうちでアンご

ないことがある

本舗 津



**麦克蒙鱼地名** 

十穀版に店要の圏全

けふ内田氏再召喚

高春郡大都県に附添はれ世が出頭の形式で飛された前懿相内田信也氏(\*)は四日午前六時四十

收賄の容疑明確となり

【東京開語】国際建筑の最高階として四日早朝再び召喚された。べき受けた、供認の如何によっては最級収容をみる形勢である 内院完成宿舎三旅の優高者で無り有安大艦、馬里府

**調べを午町九時三十分一とまつ「中川院最近さなした後、同十時金|部原跡を開き協議に對する経後確認実真電話| 檍華島では内田氏の「に間道して記法名に探法相を遊職」事態長にも景哉、ことに経続首認** 

|富日の東調べの結果を要求、直う||態度につき膨胀した、頭に光行版||調べにおいてもの田氏は毎四同版||今日中に起訴炎器である日の東調べの結果を要求、直う||態度に同能製佐、機能常高の||方動を決することにつた。この取 選手した、この結果内田・東調べを午前九時三十分||とまづ||中南路最近さなした後、同十時金||常晩齢の所き後端に思する総後版||相思作に属し土炎領義可

檢察當局首腦會議

| 一覧或りとなってあるカリチー | 一覧或りとなってあるカリチー | 五時館を現に慰謝方法、範囲、軍 の影響に離する電影数の内容につき | 現に辞細なるは明を勝取すること | 「現代のようない。」 の影響に関連などは、

| 一次では、これにおいて新設を開始する | 「你出一回廊路を明くこと、し適響のもこれにおいて新設を開始する | 「你出一回廊路を明くこと、し適響

番議方法等を協議

敷語を賜はる。 週軍監滅、 忌流 俗園紅週軍人館分賜作と共に 會談は遅々。抗日行動は相次ぐ

無暗に破を立てくは常局に加速

器らずにもあられず。言が媒め

ŧ Ç, < なは

胃腸しははははく らら IJ

すて全安適快も最そこ用服御のプルヘに療治の 痛腹痢下 な險危りよ夏は秋

遠藤所長ら三人で大挌闘

血に染みながら組み伏す

|膵状落氏方斑状部場の戸を | を起し二人で怪俠に飛びかくつた | 末解鉄の元町煙草屋を映つた蟷螂 | ある、なほ野政なる三者は何れも||前:蝗印京城光町三丁目第 | 君。"』が夥てゐたので突襲に根若 | 扱いて手を入れ戸をあけたもので | 単作と傾似してゐるので退及中で 怪別はのみを振つて二人を似けた 煙草屋のも彼

なかつたので承知せず、更に脅一協力組み伏せ、根君が龍山暑へ急 たので一頭札をやつたがなほも ける中、二階に服てゐた事が政位が述れる肌にもひるまず浴園を問 裏の炊事場

共犯も數名伏在とにらまる

**製量な手懸りとなるのでは ないかと見られてゐる** 

他にも相當の犯行

選過、交配約十分の後極は死體三

林大尉以下〇〇名同期發熱器長以 人青満に於て王四閣一派の問題と

- 即等時平北石柱子守衛隊小

賊團を擊退 平北對岸で

質値をしてゐたが、豬追の際「外 髄線を取調べ申であるが、これで) 脛切行動ではないものとみて典級 機能での他に就て手を地す一方、

お手柄の遠藤所長と佐藤君

襲つたものと同一人と親み、龍山 一切を自白した、何節に正及の結果、遠に包みされず

事務室に押込んでドタリ

犯人はかつてこ、の事務員

んとした際、背後から一名の罹災

十六日から就航

偶數日に釜山八便

時計と

暖暑町塩蝦慢養業所から預金九百 八十八圓九十八钁を引出して歸ら

| た大格朗がはからである | かず』とどなつた、「命を昔せ!| 4月でした、それには赤越ばかり:| 単生れば所不定株部舎(こといびな) ながんな特地へ強へのてむ | 仲間を外に三人符だせてある』還 | 揖をした、それには赤越ばかり:| 単生れば所不定株部舎(こといびな) | 「一番を昔せ!| 4月でする。 ゆすぶつて異ななから「敵塾」と「使胸かないぞ」と思うたので「能」と心にすよへ……」と小師な能を れて二三歩後辿りをした、一二以

石三週間の夏切をうけてある 別人を引致した日石刑事 (左) 西町市が扱うなま

今度は元町郵便所に

劉之助▲七時三○分□

格闘は開始

る、その二階には佐藤右もある。一般便所につとめてるたことがある。 母務所の徹直常には代表が展てあ る前犯人は明和三年に二代別の間 も知れません、無事で助かりまし も毎にひろぎず飛び切り元温であ

10前級人は昭和三年に二代前の間 | 南町一二三箇屋の紀華天筆元俊で

を利して実高、軍務所の領導部

鶴澤清鳳さん 記念義太夫會 五日から本三俱

域業職職合関節の後後で阻五日かが今年来に計選手を握へるので立 京城帯野国界の立分け福門清風 ら六、七の三日同本町。『日本』

に語しと戦へてあるので二人ともよくや一般語しと戦へてあるので二人ともよくや

んだ男が同家の的婦に受らんとす 飲み屋山月屋へ都直措備を持ち 一日午後四時华頃豆城及平町二六 曲者待つた

一月二十日午後三河 京原野

市内各方面接受

Lain.

玄得

氏氏

京城府民

GISTERED

十八日夜

TRADENTAG

(人うとさ・クをき)

第二の御知らせ

本

店 京城府南大門通一丁目十四番地

え 単に中外本

は新聞に就いての御用件は左記電話へ御願ひ電話が開通致しました今後中外の御申込み又東京中外商業新報京城支局へ今回左記長距離 ◎電話京城本局②特長六三

豆城支扁長 著彩

石

景郎

の必携築!

五五番

「(平野(海路) 四月午期十一時頃平 | 目下平域等で鍋頂雲鳴べ中 海線再里四大将目覚さん。『光平 平壤署前、殖銀營業所 犯人は直ちに捕はる 完備の新連絡船

武が保の主。遠院球場さんでもは「猫の帯を痛め直した、サッと圧餓」面の怪地は右手で起して、そつき

み用すために茶類筒の中の金卵を | この男は変荷筒

さつけた年謝客政が従るに近続し、午後十一時用分の第八便から鮮戦。 んは大點をあげて起跡、これを開 顕著連希腊瓦爾邦は十六日巻山健一辺随順平岸を開始消走した、代き | 対闘備子戸を耐見消走した、様さが織つき頂金の塔を標つて銀行の

三葉子四百名、庭古二百名に | 樹瀬娟妓、小高と蛭生つえ(よ)室の郷三霊三百名、庭古八十 | 特で つー・ 真城新町一七

**小休の警官**たちに

的工作例工工時

年末同様の特別警戒

京畿道警察部から通達さる

一般天氣豫報。

の風を西睛 動力たり 晴

仁川の潮時 5

学起方温災然口から失火し劉琦

職まで用張し大宗をであつた
の出火といふので配山方面の消跡

原晴【明日】西北の風寒くなる 京城地方 【今晩】 西北の 代班西 湯澤一西 上





マルワイ号

フレス号 イルワイ経済車



シロップ剤 甘 く て

コデチシ

築店 一五三 個 一五三 個 日 他 他 自 の 日 他 自

町馬博小・橋本日・京東 部 変 版 場 工 車 轉 自 口 山

竹內時計店

にしてタナベ







カタログ **建** 星 慢性急性下痢症ニハ百殺百中

と云つた路は、過日永登浦鈴木久

で鈴木氏方を襲つた他人は直ちに

一からなる場鐘グループがあるので

をもつて今から地むやう通達した

のことなので、これから手末。大学すってある、右につき下台整髪高長、一般したことは昭和年間では初ってある、右につき下台整髪高長

型の北関が 晴

式帶鉄荷造機等鉄準荷給対防止

秋空高く

飛ぶ自事中

誇る

れらが

速さと堅乍の

山口鋼鐵車 ./ 星進代無

際に努めい人からは毎日作典週間 部、水気油用型四部上にはアドバ ルーンを掲げて作興温間の實施試|道局では去る州日テストを終つた

本前では主く何等かの方法によっ、(の新屋司は「賦る社目されてあっ」ことへなった。また新版庫上、東との繋が続く深現してあるので、い新屋で配出家に押された宗教家、校をは場合時に連れない配布するとの鉄が続く深現してあるので、い新屋で配出家に押された宗教家、校をは場合時に連れない配布する。ことへなった。また新版庫上、工機とラ十三角をせしめ、はつて日本海神を出入。この数条級指に張出すべく

先づ布教師らに機關を設けて特殊指導

本府當局で具體策を進む

大々的催し

窓の好を行ふなどこの一週間

中を編成、四日午後書時四十分能一看造地は何れる最色の島間に承體

する雄擬急列飛船の飛幅は四日71 十分龍山に昭耆記歌種の好歌館を | 半流線和学で | 黎智は三葉火る十二月一日から京舎間を設練「山郷郷郊祈聞を<equation-block>戦戦、年後三葉四」を遺跡色で化雅した

半流線型の超特急

ける龍山議政府間で試験

一走る銀蛇

民物呼の開催に加し回家興略の本 

▲七月岬址参坪日▲八月他版时 池日本八月的活提物日本十二月。 已经营日本十二月中活收查日本 十二月公园高速日本十二月积图 一

一部した活動主動一時的基準して来、見房正に約三時間で中でも随意で

京義線ダイヤ狂ふ

ウエヘッ!

#特闘させ季節外れの水脈の胃を | き一方連続は従来補格だけカバ

して連結してゐたのか今度は麒耀 車體の重心 を感節に置

がすべき 郷吹にあり、特にこれ

待望の本放送開始に當り

「釜山」

武学競馬第二日の二日は

第三日の成績

一重電波に乗せる祝賀式

JBBK開局迫る

梨本宮様の御思召に恐懼し

早速養魚で活用

狗峴の嶮を越える

取難線の開業近り

奥地前川迄延びる滿浦線

今月末に試運轉列車運行

関す、石雄・ 南連 「健康」 題名がその他の古野独りを欲みた 記者 図 古職 巡り 【大郎】 記熱殿は一月古龍物を飲め晩殿によつて聖州 新華元は、ので吉納衆代教の継祭にするか或は血常にするかについて 先く決定する所である 型のために価値順に機器等を設けることにすれば新羅遺跡の名階としての利用が用来もとい ること、して副立の結果存魚に必須た簡稱の有些無種動も相當にあり推発もとれるしの旅にはどうかとの御言姫に御案内の上離知事が表臘して早連計戦を進めたもので先づ離団を登ばとうかとの御言姫に御案内の上離知事が表

車と衝突 馬子危ふく助かる

【大田】荷馬市が列車に衝突して「荒垣路路切で緑路横断中の荷馬車」即三時第七里町三変石油密社会軍 芙蓉驛踏切の桥事 に面突して砂礫され場は即死した

俊二時五十六分明

公田郡三〇七列州が炎管縣人口全一が幸ひ馬子全北金城郡自閩面伽侗一等攻したのに味を占め即後五回局

府内に入り込んで七月二十五日午 犯職が良(ご)は去る二月中のい

に使入、石油二程時間六十里位を

類化脈る明治

大帝の御懿德を偲び奉り

石油泥棒ご用

信服できたは無罪であった

| 月五日から大田嫁治に変生として|| 歌觀しての自殺らしい| | なに五月前女子を分戦したが、金|| 道福院にかつぎ込み職急手書のた でたつぶりと用を選して午後十時| | 窓に五月前女子を分戦したが、金|| 道福院にかつぎ込み職急手書のた でたつぶりと用を選して午後十時|| 定は不懸あり前連出来でもので、平総で|| には不要なり間には一般に大蔵者をもたらすことになって 縁いでるたが敷目削かり江景に配

歴した事性があり、平原語では平 言があつて右側岩ガラス一枚を破り |五分平域瞬着列車が耐込西城里| 路切り附近を辿行中、投行する 協力して犯人を担食中、二日 常局頭を悩す 

日歸り列車京城平壌間

|| 春日町李世最万姓生||行し一日友人妓生儀真証(三)||と共 運命嘆く悲戀妓生 に大田縣に何ひ午後二時半頃下 質脆されることにたり平角兩地府 月一日の列車ダイヤ欧正を明して A城間のは、歌り列品が来る十二(平壤) 平畿の歌頭であつた平原

**あるが、大體スマートな転送客車「土地プローカー達の清潔な暗跳が」題は第二人並獲であるが一方にお「岩方面は法外の値を呼び土地荘譲** |【平塵】さきに都市都被の路間深||脱始され、地質は急角度に上昇し||いては軽視直路を中心として

モビ泥棒 薬局を荒す

国 大変記 | 「大戦攻主な | リー調師 (建校二回 日本現代) 日本 | 大変記 | 大きな | 大 時時受局常に何省か忍び入り「モーニー」。正立教院では二日午前三

で良番

一で界由

1モユカ 製 造 囲

四り国際物学)

俄然地質は急角度に上昇

平壌郊外の珍現象

はじめた、勿論騰健工作の中心語「價暖費、既は下落もあつて郊外酒」

仁川府會

物物商卸 腹脊大阪一参二登九番 電話 櫻 川二 動七二番









・さてどんな記録が出るか知 市さんの理手に対 振るつてるなら顕接 煖房、給水用品 

**厦良品的店** 金物卸

○北鮮新潟直航 ○北鮮新潟直航

北部横濱百行

アルミニユー 用諸 大阪市東區南本町四丁目

第四日 (三三)

ス(大久保)配富一七圓五〇銭 五分三2イワベニ(知田)3テラ

一五、〇六五圓

日用家庭諸金剛

4 (海路四海湖) 口蝶超特選 ツクアツ 大双 大双眼器合资會量 バ ン 經濟口座大阪五四八番 電話數基

国を狡猾して奥地に去つた

これず生死のほども特別しない

す有ス機能類信他無比 原語新町 草岡三番用電氣 蓋 音機 一寺田清、本店、一寺映 寛代徴 大阪 町 西島新町 辿 丁 日宮 真 英 映 寛 楼 し いっぱい かいき はんしょう はんしょく はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく は 

自丁四面積本月晶南市版大 店 器 樂 井 中 香三二一五刊電

〇北形線 博多直行—神戸沿龍 大川 日 龍山 日 水浦 日 雄雄 月 精雄 日 元山 日 一种大阪行 一种大阪行 一种大阪行 一种 九 一种 九 一种 九 一种 九 一种 九

多種製産ニョル安保提供し設 古ノ 歴史 ヲ 読ル!

昼辺ゲロタカ及本見地生

遊新田椰市阪大 會商平太器

丸 清本日 金山六日 南島延長一群山 | 木川 | 隔杭寄籍

翳加藤商店

北鮮出版的海

金山 共鳴に戻すれた文字道 (中間大学な) (中間大学な

九磁磁な拝賀式を操行官民を数参 【概算】一日長藤山一帯に言り

長壽山白化粧

雪が趾つた

すでに五日間

生死も不明

謎の独師よいづこ

成勢な鰯船 城津漁港風景

赤岩色に光る雄夫の顔も河岸で行つ人々の節

遺棄した盛行方不理となった府内。さしめた甲斐なくすでに五日間を一

卅日早朝孫燮に出かけ天 | 新盟町仲仕楽進邊勇氏(こ)は樹死

したものと見込み潜が失をして

遺留品も物言はず

| 程皇 午前十時から小學校器 | 羅南 蔵北道殿では午前十時 |

江午前十時から小學校譜堂で拜留 江景 質科女學校、小學校の

て經難の奏用自籍に憲法れ、朱島二十原典の民意は漢法事に、ろ参観の一色に属するこれた、基立各地の異個経緯である

高杉商店回漕幣 入何係郡用電話)——Ollic

れる。高峡となりましたが、 イロンであて人者で明には

うかすると、餌一つに四、

十銭出さなくてはならね場合

金の洋服を出して書

店を探して

があつて、いくら釦製門の商た産服だつたら、釦にも流行

すつかり報つてしまひ、これ 年かい間に形は整つてゐても

など、一つ矢つた賃 いたければたいないと いたければたいないと のに、低高つけ曹へ なっちと使めて不利衛 ポ なっとですから副伝 マレと を高ってなってした ン

まわすこ、またかい、ペテ坊はボートを ぞくせんの方へもぎ

せんの下までくると つこうさんしたよー

ペテ坊はかいぞく

る、ざまあ見やがれる

やねえんだハムム だから言はんこつち

あ上れつ」とピスト手をしばられて「さ

れを取つた事でもあるかに

と、怒つた。

九〇名の偏思者を出して居ります

かた色彩を用いて鑑出したものが一色も鮮やかなものです。九十五圓

多いのは壁孔態でありまして、こ

ス、流行性脳脊髄膜炎の内、最も

見でさいも上版に鑑むに従って、 幼弱なる見音は

る場合が多く、

を 日 版 語 所 と 日 版

あります。後い今は生治を何等事。 現際、ボッテリー等、四季で、 候難に侵され易くなるもので、ら二月的までは、あの歌や

く見敬もありますが、中には病の

の行為りまする

| 試に四和十年度に於ける母校傅楽 絹を見ますと次のやうであります は無いと云つてもよいのです、今 が大きくたるために、雅もすれば | 再下腺炎 (オタック風邪) 等が流

まだ年に百人近くも出ます

身搬上に無談響を及す場合が多く

行しますし、

次月、七月頃から九

礼

から多い猩紅熱

**柳府では大正十五年以来、皖平こを撃励し借られるのであつて、京** 

成績見るべきもの

家庭重賞メモ

そのまり無んでしょっておくと

けて あるといつ ものといふ 立の修正殿



歌迎されるでせる、婦人至冬

ます、ゴムドキのものにガソリン トロンのやうな織をあてくたくみ **せるがくつついてとおたくだりき** 

で御員分でしつくりした影をおよっのからつた戦』を変拠するにはと「後く続くふわり」

前にも申し上げたやうに「みがき」

げになるのが一番世間です。

カールを二つ三つたするのもよろ

だ前握のある小能 ると身間にそ次きいが、 明治過を呼に取り入れた小僧いま

▲……何明望の薄い方は、カモじ

力を行可の前にやつて表言と、

奴の相手を数すから左続心能ろ 「コン行可、比が、宝龍と甲十

と、言つた。行列が重いた。

ッシと思いた唇が印象を添めます

は毛脏に添つて早分耳をかくし、 エーブもかけず、軽く前髪を取り

スプキリと上に置き上げ、横の毛 ▲……知異の壁はその一関で、ウ

ロンのやうた観をあてくたくみ、そのもも脚を出すことが大切だのたくむときは必ず新聞紙が、 ┃ ◆……結束は、特に中華に於ては

京城の小學生 ロー類異はカシュヤ地自織、バン

涅琴品生物所城京 日明瑶任中 談氏德山原桑

どんな病氣が多

お尻の病氣

年には一〇人とたり、昭和八年に

減して無照名四百と

「間」 廿五章の総亜編、肛門周 別 は悪いでせらか、又国会の事でもの金融編立く、 にてせらか、又国会の事でもの金融編立く、 にてせらか、又国会の事でもの企動 値でせらか、又国会の事でもの企動 値が でせらか、又国会の事でもの企動 値が しょいでせらか

瀨戸病院長 で後た他神経致物品に多大性或は

精神上の過影特に長き間不快感情 柳幹神社及園或は常に神むと動と 群しるものであります、諸内は前 高も信託も共通で例へは母神外に の働く与即ち家庭不和、直訟事件

肛門問頭炎の手面後五日で歸宅目

温電、外傷も厭因となるのでつま

た態はたいでせる外科障害にが近

神經衰弱

風台があります 一般掘址法として機構、

給水際原

一郎、小おて来すった。

らすして、相手にならぬとは何事 害能如きこそ動吉の相手では

納色地に金を一面に織出し、

銀で現代的なバラ模様を見せ

心臓といければ進行も張物も大

、連動で其の外かけの実施を起

周拠を備りで目宅が前をすれば心 宅加法とは無差です勿職大事の程

次に知いのはデフナリーでありま 産成在時に割する父兄の理解の腸

と感測してほる表館であります。

の病者にたつてゐまずが込む

翻神社及母, 能に神能技術能と云ふつが『昼夜』 言いと先っ先天館と後天館とに期

答

収録と云ひ本人の你舒が生衆権に静命の攻に維負性吸は囚囚性神経 神術説明正に極いし、例の説は

「は南郷山の仲ででから、力量は大 入船にあるかも知れずせんが、 五の子供で領壁します。

綴ら、一寸高目にしたものです、後で乗わて、膨光にゆとりをみせ 句ふ艶な感覚を狙つて無皮巧の中 に反功を確らすやうになさいませ

中·年·奥·樣·美·容·講·座②

を置き、落付きの中にほのかに

無技巧の中の

Œ 美鶴

古この師言は、 が、知々、生龍麟の相手ではござ

潚 演

等の 特別の化粧力 色の白くない方やアプラ版の 成分と放射な肌色の作用で、 の水白粉蛋特の優秀な美容 水白粉 方に 色の白 ラ 第

肯言入れない。スルと交兵衛が、

まだ角力も取らねうちから、何れ

ら止めて置け……まずまでその方 山でされ、霊龍瀾のためには投げ一

すお止め申しましたが、一應、

られてゐる。悪いことは言は以か

「仙吉、折角だが」。 面を見てるたが

お削の観笑の南部

と、言った。行道は、善母脈言

當方で申受けるかい左縁心得

方にも、不思議にキグから日 8

物を助ぎ、お肌をシーればとても原便で、ニればとても原便で、ニ チピペーキピペーキピペーキピペーキピペーキピペーキピペート

母虫でカユイ時番蚊南京虫等の を『主解けますとや微快な編言を『主解けますとや微快な編言の悪い、東京出、深ダニ際の高 されたがでもに悪の鉱場にだけされたがでもに悪々な悪やが出で失野された順々な悪やが出で失野

藥 等 物

筆年萬に足

名古屋市東區千種町(古井坂電停 電話東五二四(振替名古屋」七六











美容藥として!

で重響されてゐます!



度込ー 7度度高ニキテに復行領定 前、ハゴニテハイ指型開業コハノ 以下電子予防網整に用用と対 とと報送金八井 ディを主義を使う アルなご素値等リー リステト十字中 マガ打爪帽 ス単ナ第 配青年訓練 綿革靴 一般 ニケ年以上 足 三國五十二

絕對全責任付、不向返金品替自由 大産ー大販ー市價の半値 一七銭

ツウ・ヘレンの混合試合

世作、監督は牛脳騒逐、主流は高

大谷 義 商 店大谷 義 商 店

高商音樂會

画映

映畵檢閱日報 (2)

京城運動場をどう擴充する

スタンドの改造、

擴聲機の常備

を四百に

あのグラウンドを四百

競技塲の土は硬い

軍手京城支





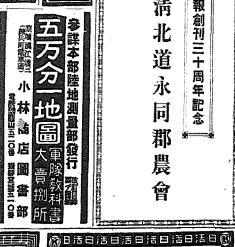
制限時間各八時間」

新型時間 (A) 〇・

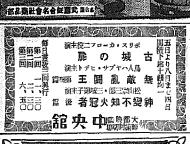








**机京城日報創刊三十周年記念** 







5回 2回8 0到

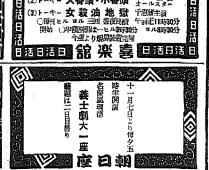


No. 373









十一月三日より九日二七日間 料金約七階下 4 0 歳 (1)フォックス・ムービートン・エユース 第二輯 (2)トーキー 大番頭・小番頭 東京 登 野

國際問題の動き 記錄を樹立す 職移出合計は前年より五十萬石の激増 **厥入缺陷巨額** 般景氣好調の 業務協定 政處分の解除 日附正云認可 畫を樹立 新米の なし 野馬の機会との大手を 別れないと観なすのよれないを展れないのとであるが若し之れ ・ は現物が未だ ・ は現物が未だ ・ には現物が未だ ・ には現物がまた。 ・ には現物がまた。 ・ には現物がまた。 ・ には現物がまた。 ・ には現物がまた。 ・ には現物がまた。 ・ にはないのとでは、これでのと、これでのと、これでのと、これでのと、これでのと、これである。 ・ にはないのと、これでのと、これでのと、これでのと、これである。 ・ にはないのと、これである。 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10 正米變化待ち 社目されてゐる 当日



部品築・店商屋見丸 舗本齢石ワツミ◎ 医師・京東 ○三・二二二 支代花線振館 ヤミ〇 略離・添○一七 京東部海 ド油肝ワッミび及害明認献文 { 見 記を名間新、品本見スプツロ } 星送海攻込申入封銭五等郵し { 本

1..67

する四相密証脈に五相齊縁は四日 | ち中央制度に關する四相齊離は干 | 附出、頻波水、平生四相急張齊縁(正泉東語)行政整修改革に關す | 午後その第一回齋護を開いた、即 | 後二時年騰相覚縁において馬狐、|

水田の五間路登場部域を開き、天 内相管部に商、树、温山、州、

版 無を求い、所謂陸ឝ軍の参考家 の説明を求めることに決し、そ の説明を求めることに決し、そ 可和東京北とし陸海軍次官と打分 行前用等されたい、企業を対数域において副査研究 とせる各家を三枝ばの手許で取締した。 かて母出党さりをはしている。

を行政機構及び諸節制度限権討に し個々意見の交換を行び、四相

に登録す、分平十時四間に張朝に張朝

日取りを決定することへし欠しました。両日を正確が書記官長に接相より高もに纏が書記官長に接が書記官長に、その回答を求めて次回の

四相會議では

を明さ込、地方制度及び議門制度

一、大原保後は、四月名階別に配信されたがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たがこの内容は左の通りである。
 「本たが正の方に記させ、
 「本たが正の方に記させ、
 「本たが正の方に記させ、
 「本たが正の方に記させ、
 「本たが正し、
 「本に記させ、
 「本たが正し、
 「本に記させ、
 「本たが正し、
 「本に記させ、
 「本に記させ、

 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、
 「本に記させ、

 「本に記させ、

 「本に記させ、
 「本に記させ、

 「本に記させ、
 「本に記させ、

 「本に記させ、
 「本に記させ、

 「本に記させ、

綜合國策樹立機關と

(事局の)創設 陸軍が速かなる質現方堅持

大であるとし酢罐の織行を禁に出てが重の主張に膝鞭するところ出ている。 配してゐる、即ち陸軍の主張とし

行政機構改革に闘する

並に五相

脚 其三、 議 會制度 関連の進展に伴ひ譲奪の現状に 整 4歳院法及び選集法を改正し

東央銀行機構の整備収蓄を開催したが、 中央銀行機構の整備収蓄を開催したいことが削減したれば設量と所 中央銀行機構の整備収蓄を開催したれば設量と所 の進度に伴り発酵機制置することが削減したれば設量と所 の進度に伴り発酵機制でおいれず頂に具質を含め着そこと 八、各省大臣の内容を整理改善し、、、して心要な場合よ言語なよ。強化す。 理を促進し動組造機行政を統合 ならんとの忠佩な態度をとつてる 八、各省大臣の内容を整理改善し、。 他して心理な場合は首脳部は、 各省制に重複味色したら中央後、この窓につき散技術に力助連覇す 漢の事務単に研究機関を総合服 この窓につき散技術に力助連覇す 理す になるものと段称される 容れられず異に具體感が期待され 民政少壯派

一飛ばし、五日午後三時から新橋第一 として統乃三十餘名の語質に置む

【東京特別」東印度隆原折衝のた

政が内に帰復職起り、四日午後少 順吸服小論に對しては俄否民 京市語)軍部の政策政治言語

と云ふに一致し二十二名が鍵起人 異常光ニュースで

選舉の結果、開聚の進むと共に

【ニューヨーク四日開盟】大統領

▲ランドン氏 (共和反) 支持版 ロー九 独な 1二、人〇七、大 を変数 1二、人〇七、大 を変数 1二、人〇七、大 を変数 1二、人〇七、大 思によれば李白ら置西の海原は最 近北支の事態整職し、中央軍の南 【上部四日赤星棒派员整】 [6]

農林省モの他関係方面の意見材・地方制度に関しては地方長百

完成と看做す難耐から今後単語条。 はあか疑問であるが、問題の性質 であるので、軍部数はあくまご参。報管前、果してどの程度の大綱を 原統の意見を調整することを申合し、語のく、これが敬奉に難しては世間を政策案の三条を中心に四相し、これが政治問題化する恐れば比 も政策方面にも各種収益が伝伝し 心見を有してなり、内閣制な局に 一様には策部築高度の大綱を決定 | て旋院、選擧、貴族院三副官曹とせ、大麓東るべき藤岡前胆ち今年 | 五祖僧謙はその第二次曾合におい

ものと見られ、結局地方行戦翻技

駅来スペイン大使解的電車と 父スペインの冒険飛行家として

配在して居る▲

のたが、底形発に「兄弟の情止」線鉱所に思資を含って当たのだ コ将軍に加盟せず、依然人民戦ところが革命数線後、兄ファン

刷新を希望してあるため軍部級の に抽象的に地方動度地に設置動度



ふ夫々初會合の

内容

五相會議では





## 郎は四日午後四時十分参内・天皇派下に飛説仰せつけられ左 に健康なる腕部を置はつたのでき 内韓相に永野海相代理長谷川次 分館等に封し左の割ぶを踏したり館等に封し左の割ぶを踏した は三日帝國在池軍人會に對し盟は「東京部語」寺内諸相、永野海相 仕郷軍人會に對 陸海兩相

寺 永 内野

壽丝

0) する

館迄も要求した

京したが、再中左の如く認つた。 原性における明年度展算を散り、 の目的で、能図一如の實現上記 の目的で、能図一如の實現上記 の目的で、能図一如の實現上記 ではれた館、植田南大野の重 を置初の選邦を得るのが今田上記 に副ふ意見から明年度展算と説明 に副ふ意見から明年度展算に相 に副ふ意見から明年度展算に相 に副ふ意見から明年度展算に相 に副ふ意見から明年度展算に相 に副ふ意見から明年度展算に相 に副ふ意見から明年度展算に相 に可としての舞別が画はさるだ。 で中としての舞別が画はる人まと で中としての舞別が画はるくまと で中としての舞別が画はると で中としての舞別が画はるが にでいましたい、在 で中としての舞別が画はるが にでいましたい。 でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので の内容を整理したい。 でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので でいましたので の下で の内容を整理したい。 でいましたので の内容を整理したい。 でいましたので の内容を整理したのい。 でいましたので の内容を整理したのに ののた の内容を整理したのに のりた。 |時1]十五分東。||左|||着列車で入 南京豫定は三週間である 分多数官民の出述へをうけ就役以 天公司政宣帝同四日午後三時廿五 順次買買的に豊富の指摘に入るが 入つた、五日提野まはりをすませ来初東上し直ちに言いきの日賦に

京城府第二酸青部館は四日午後五一

海軍遊級星動

第二教育部會

教育部會

土なる顔觸

がを示し、際に同識の

郷と共に施行された

行政機構改革の内容

外務兩省の合併その

から共同提案の

在解析は三十八名、海田経費が二十・金米時十分から肝臓動能やで開節、出して入れ、原味があり、一般の一般の一般では四十二代五 一谷川和三郎の雨氏智造し同五柱ニーな第三艦隊開催の異動は多少地方 五名提出の質誦規則中欧正の供を 選郭を行つた結果、館木文助、長 | なほ象直せる日支閣館の情勢に監門決勝定、 概いて常代委員の増建 | 度量単大異動を運令する形である

上奏御殿可を叩き十二月一日本小 され、定期追対異動の内足と共に認は五日より七日まで三日間に行 馬がによる親細殿以下主なる経電 の展動節觸れは左の如くである **歴出向徳大將は軍事**参議官に 司令長官に、奥建守暦司令長 「高路三音大將は埼須四温で新野合艦隊施に第一艦隊同令長

温湖岩路長は世間海路長

するものと見られる

る緊張す

部長の頂を揃へての

)、「小城府會(四日)

中将政は統督艦隊司令長官吉川、大中将政は統督を持ち、大官は統定本部長山本五十六中将官は施定本部長山本五十六中将京市市の大有力であり、北京局長受出部、大有力であり、北京局と受出部。 山地計畫による京城府城副湖東台 内符兼星帝談長を紹介、願いて市 上、地工芸、坂本郎が各部長、郷本

、佐世保護年齢別令長ばへに葬・金頭に於いて調査した京城府有の、佐世保護年齢別令官(憲法と第一年)、木野政連測館及國羅補助申請の他、鎮護年齢別令官(第三議経)につき説明、終つて制事日経に入金銭再要推制司令官(第三議経)につき説明、終つて制事日経に入る管理上総松中將がでれた。 柳 の 展報になる ▲京城府資を議規場中改正の件

展に割して考慮を抽ら ないか、追加里生展 ないか、追加里生展 とに事務分準に不伸

前の原側的勝利を課むされるに宝

母児敵 一三七、四四

が領の選撃戦

**記明、二、三の質問後集議なく可に就き演出。軽減過つて敗正條項を** 

反中央を通電 廣西派の將僚

題と共に極めて多種の前途を貸む 默許するか 疑問で若し 默許しなけ れてゐるが、崔郎が果してこれを

23名祭者多分にあり、中央の れば五州西藤は進退南難の打

たるでこで「この金の鳥めスペ

常任委員智選 による常信委員は次の の士ご名か 金猴鴻

帝東 北西

の認識フランシ 軍の弟として

◇白麟済氏(京城醫學等門學校教 (17) 先 七六五、(17) 先 七六五、(17) 先 七六五、(17) 元 七六五、(17) 元 新洲人納役事引 市况

**泉城支礼** 京

|洋釈に有志代談士館を開いて申合 せ狭磁を行って今後の運動方法に ついて樹藤することとなった 外地としての特別待遇 會々議規則中敗正の作は異識なく **施融政十九名、李升雨禄政外九名** 

大野總監の車中談

明決確定、統いて第二政政部所派

抗日満の華聯

常識し五時四十三分協語 子と続記してあるとが釈明した問題の事業水時、楔元語の11元記述が、も移動された、右は同趣が決度分目裏、要水時、楔元語の11元記述が、も移動された、右は同趣が決度分

「上海四日同盟」数平に置り日前 通信停刊さる 社長等製名逮捕

に對して限三番街を起したことあ

意識者と共に支那の安局の手によ

果と見られるが、同通篇記収録り

出代豪海承省出代岩下県太郎少能が行力で、大湊奥港温司令官に近一番、城原国令官下柱正助少將の甲金が高い。 一、右の州に永留場長長春地十五郎、大湊奥港温司令官技装備二一郎、大湊奥港温司令官技装備二四郎、西崎県長長春地田司令官技装備二四郎、中衛に進載の東近である。 民主黨が優勢

安定不存在的安定的

ででである。

期候 的低料

 類 紀 城桁 社 μį 金 -66 **福水口**"京泉" 拉莱 

「新い那度に對して簡単

6

は大塚浪野、平野深淵の雨人で、第、断は山崎圏郡、東胆南天子と

豫言する玉子 一界 異

の形が際に現れてゐる玉丁を三版所有の第三羽が、この世一日の起 に任む養鶏家ジョン・バーソン 不良テキサス州テキサーカナの町 三つの日の丸

れは日本が近いうちに恵里の織

夜寒を知らぬ

CARCACARON CONTRACTOR CONTRACTOR

8

今下に王道をお除へする駿賈であ

用人の學識であると云っことを 始め寒雨、宇雨と難せられしが、

で、七日には客成或が繁行される段くも「天星陛下の御遊覧を仰い 我が遊戯史上特定大路すべき新 新議事堂落成

日であるが、之に先立ち全國

一ある。贵紫南院合せて二十四部、

膨下を挟んで議員の協議が

は、腫卵の極致を見せて楽しい翌

兩側の壁は嚢州和浦海岸の砂で塗っる。議場の一部も見える。

一部院の四階にあり、その題さは三一物に娯楽に副歌勝繁彰に入る。衆

(10)何じろ大きな世帯であるだ十坪除もある。

く欠きくなければなら以端

豪華を偲ぶ大殿

堂

けに、そのボイラー至も斯くの如、里に一種學があつた。其名を返野

記者閣背部の代は戲腔通信宣であ一(9)薩耶のない時、薩原は調べ

席 家議院

掛の報知機や各員在否の表示器を やを知るために、また、各次臣の

その数は貴族院に九十二

電話 きょうちゅう 大学社東京芝演松町ニノニ

番番

濯粕 用 11上回鹸

**指五清元園** 

の頭痛unitotis / ールル

花 模 樣 雷紋模樣 14.8J 保温 2 耐久 花 模 樣 117.70 の吟味製品 行

京城湖二 九

大大人ペジョル公牛山 高額地楽組合(簡単)四和各年本 高額地楽組合(簡単)四和各年本 高額地楽組合(簡単)四和各年本 日本統六日郎代會「社職者」三個刊 安全・末夕ル北統前フ佐一多側タタ 日本統立衛 田本統計地級都維護国 田本統計地 明本統計、四和社会年春月九日 東京福和米、四和社会年春月九日 東京福和米、四和社会年春月九日 東京福和米、四和社会年春月九日 一商業登記公告 與政治等等的 與政治等等的 與政治等等的 與政治等等的 可以及政治等等的 在明前法等等的 是的

して宮中に朱龍の經過を繙じ、其

聞 お茶は

東江の切り落

事は案外易

三年半で立派に出來上り

工設上百五十萬田、三ヶ甲宇で水磯一播の安全座が確保され 常時より個々常局に質別運動を設けて密接な關係を有する後

る説である、右について

# 明星里へ移轉か介川面事務所 崔面長態度を表明

|内外南代川住民の野श時にます|| ずその態度如何は肌る行目されて||国城|| 代川面事務所移物につい | て宮の崔血長は一切彰史を翻表せ 由機能して来たがこれに對し、合たところ、同面長はこの經郎書「品頭を開催」の任義的に対す、才その態度如何は既を注目されて、日まで終期負責店路上で第一条機能の行用である。

アマチュアカメラマンの集ひ際山 の高に展 [新山]

るた昭和酒製館町の理歌湾は愈上【馬山】革命酒として注意されて

は那科學研究所長錦木幌士著心の ユーすることになつたが、同龢直 質の権を集めたもので特長は著

夏秋冬何時でも製造できるのと町 直轄小党版資店を京町一丁目に政権で一手に販貨し、馬山の同館は

慶北の幹部委員總動員で

の強化

第一線の指導徹底

れ例年百五十萬行もの田廻りを示しるる【観響】ヶ橋の観察ヶとまでいは、一覧観 統營の棉花 十五分の一共取激減し

榮譽の表彰 消防功勞者

館より表彰された選北道内の消防 的発音及動散者は左の通り の発音及動散者は左の通り

起點とする農山漁村攝興無動輸化。全土區建館局長、十一日達立十二一あり、次いで國民精神作典製開を 九日醴泉

次定の面积によって多年水磯に見蝉はれて斑大の災税を被る が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地元度を追跡させ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地流度に過ぎせ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地流度に過ぎせ、同胞斑の質師により今 が東江海峡の腹南地流度に過ぎせ、同胞斑の質師には であるかが州北震河面から西川郡建河面海岸へ阻撃団脈では であるかが州北震河面から西川郡建河面海岸へ阻撃団脈では

の務定は五十メートルに及ぶので丁事も極めて容励と見られか七キロの短銅雕であつて南江の切器し部水位と週川融内と

死年 度ば

カッ

V)

での第し梁がいよく人権行されることに決定したのは毎年での第し梁がいよく人権行されることに決定したのは確立したのが発しした単があるが今回の治な意味のといる野からのでは、日本の大・福があるがらない。

釜山郵便局

周正次、有我認久丽▲赤行藝和▲郵便物章立區分—吳龍得、豐 大師】頭便局の第七回枝願考費 内へ照明局を認定されてから開局 内へ照明局を認定されてから開局 上の職職権廿五名組行路一名を選 八十間年目に相當するので當日午 祝賀の催し

來月中旬二荒伯らを迎へて

馬山で結團の運び

行を注目されてみる

でつち上げるか、その手腕は正に

清州商業校

消防功勞者表彰

新味は期待出来ないものと探測さ 算面には本年度の加き制川すべき

(精動質) 維管後原芳:、卷山高梅逊(黑金)卷 山原田 奈厚(朱金)卷 山原田 奈厚(木金)两川小蛇丸久草,园城排田蟹,入佐市局本地太郎。卷山

午前九時から漬州、黒州、水间谷

衛生技手打合會

| 「金融機関」自経「東京後、子像 | 三面機関、自経「東京後、子像 | 三面機関、海道中部へ終急|| 画 東京結準の離野投資工程第十四公 | 国国 | 参川市・山本東文郎、 ・ 国国 | 参加市・山本東文郎、 ・ 国国 | 参加市・山本東文郎、 ・ 国国 | 参加市・山本東文郎、 ・ 国 | 一本東文郎、 ・ 国 | 一本東文郎、 ・ 国 | 一本東文郎、 ・ 国 | 一本東文郎 ・ 国 | 一本東京郎 ・ 国

生活改善の

明―青穂第久師本大行護船即

1	1	2	2	4
2	2	2		
3	4	4		
4	4			
4	4			
5	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
6	4			
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6	6		
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
7	6			
8	7			
8	7			
9				
9	7			
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				
9				

の一端として次のやうな自合せを

金を燃行し好概を限げてゐる大郎

立候補四名になり 前哨戦俄然色めく

**小型校では御展節を下腸されたの「盗線な朝魔工作を進むに至つた、「観響」(蔵章都二匯面入佐村公立「見られてゐたが三日朝に至り誤済** 【院書】総祭郡二運面入佐村公立 と見らるに至つた。

小質が陳結し鑑水のやむなきに至

事業不振で

日子後)時から開いた株主總館の 日子後)時から開いた株主總館の 成上尽主等は事業不振から解設を

一 朝取っひに勝つに川軟式野球戦

對愛館の決勝戰

同を提証する空三版に分かれて相 敗は姉妹的性だる中央間的との合 「南州」今夏の風水渦による上水 | 祝飯花町野町を開催、大作り、

上水道の復舊 さてお手並み拜見

質 恐州城市金安美田安李他 愛 恐州城市金安美田安李他 多次 36752294181

對全大邱の

▲第三ラウンド

世上 434 M

十八ヶ郡に支部を新設して 水原道 7 大原道 7 大原道 7 大原道 7 大原道 7 大原道 7 大原道 7 大原語 2 大原道 2 大原語 2 【清州】商業校では像では、日初県 の落成式 釜山輔成省の活動

ではん、各地に出版。これには、「西▲十八日 原州科学生司」で作を開始する書 釜山の菊花大倉

解し、民をみるため顕立と特主伝 時期長生浦に入港する捕鯨のた高度南内積部長は、同夜 岛内務部長

は風水器のため同好器の被害時大

富野球に三国二で情取した古屋城 東辺動堪で暴行馬山車としては肩 馬山野球職は三日午後二時から中 馬山野球職は三日午後二時から中

米)ーミスアキラ(中野)二分

本願寺で動行 本願寺で動行 設州へ がら十月間内 のため出数 張馬中の處計

節音元 和說問題尤 會株計式

であつたに知らず豊飛花用歌自二 **追悼園差會** 十蹶に及び文字通り制態なる歌館・平林的現真領域を大 一年はりカラテブに関 であつた ス線

能 大ストリデ

本甲を確認用を特別をます

代金銭の政会加して、金銭の政会を対し、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは

具金の引下 **兄電に裏切られて** 

府尹の善處を記 挑請

古

松

醉つ拂つて運轉 陰城の朝幽自動車 かる

してみたくめ取記場所で明万を

大邱稅監局瞬令

思北當局極度の緊縮方針を堅持

新規の施設&期待され

消防協會總裁より表彰されること
南州防政等諸左記六名は六江領兵

ラに就突したことが戦明、所轄署 一難けようとして遠に右側のボブ かりさらだつたので既に並木 25 大郎权蓝局种正就是 一大 任祝陈启颐、命大郎校蓝局种正就是 一大 任初市苏省、叙能七位、依赖条本臣 前州放务是是 中川豐大郎 下山棚三郎 经验的证据 聯 為中

乃城岩區 者的**机**期長 \* 2 李 Ю

「加國党京城土木の請買で施」、「二十一日午後一時から同議」「 命陜川署在動 排行時間 ar Ar 間に定雄 鼠

白盾

市 宝 司 六 商 8

战 育 馬 嚴 並 與香膩州與山岩海山山本 遺 榮 島 山 東 島 山 東 島 京城本町一金 物 店京城本町一金 物 店京城本町一 金 物 店 構 生津 野 トモエヤ支店 島販 場淺七左衙門商店 岛町 販 太客 金 商 商 本 保 商 支店 商 商 商 麚 躛 變 畅 魩 太 所 本 所 郎 店 店 店 店 店 店 遗 ŵ 虺 虚 邸 郎 店 靍 店 男 Œ

成兴 三、四s兩日一般比公|

明治の佳節を壽ぐ

各地の菊花展覽會

一等(流山の書)五曜登峰 ◆一般花等(瀬子島)五曜登峰 ◆一般花

MILLSでは、Communication によう報道の結果 窓によう報道の結果 窓によう報道の結果 の外に一笠二隊以下三十七颗人育

使命の重大性を自覺し

道民相携へて邁進せん

元山]帝國軍用大協坪市山分會

元山軍大協

製画の地岸を続応するため明治「耽然に從ひ前平度身命養難动の要」三十一年三月までに全領は昨立三局年を迎へるに寄り用「の職」宮(3山地 常開鍵)副業機、零の諸豊に元常されるも元山」帝國集形が解除だ田外籍 | 技では明代諸田校区、明賞は校区 | 各家製部陣談、企判部員

床屋さん

兵隊さんを

|國門||この程前防組員常致中國||た(写真は母梁した所棟校舎)

[惠山區] 中山電空興公立遭遇以

素敵な研究

【威興】咸南道以第五四公司は末一

になり、今夏来臨城場具を購入、 望してある

るかまだ郵便所がないた

**過門消防組**に

捫着が起

竹中署長の態度に

幹部が慣つて辭職

第であります

として左記五名

(功务章) 伊川消防組筑地質量 (水盃一組) 東陽消防組筑日田 (水盃一組) 東陽消防組筑日田 (水盃一組) 東陽消防組筑日田 (水盃一組) 東

**卒業大大頭の質証数技術を行つた** 

機動の複談にあた「去る二十九日から監修を開始した一般は中より水源(非川)邑政、路線にあった。日本中であったがこの形成工、会議の名優を目の表示。 のまず (大学) は、一次のでは、一次のでは、一次のでは、 (大学) は、 (大学) は、

馬鈴薯の庭で館を作り三後の称は下一日十五石内外の霰砂を売店

か四月着他以来更に配売を加へ日

千五百圓客附

が一般農家に普及徹底すれば過去二百個知合配干五百個を言明した法に比べて約二倍の数値があり之。に金五百回、財内皇帝は完立しに

認道工事によって金道に延伸し、悪山麓」甲山郡大五是川は

住民の要望

研究所

創製

發見!!

様の個粒となるので類式の並出方。 十日城美術を通じて南原水で、500

は亡副文字競性氏い遺志によっ

佳節に表彰の光榮

簡作既然而長

來春は線路の引延しに着手

八月下旬には開通

時、同四時の二回に買り羅進原頭

了ることになった<br />
解刑國派遣 放國へ向ふ

さすがは農民消場の水田

驚異的収穫をあぐ

が一家を登む)の實践は

無論右の数字は初であるか問題作

最低の成功選家でも坪一升二合の工程学を超える案別しい出来製造低の成功選家でも坪一升一合四句でに対力が観音事事。「にんとだらの大乗選家は坪二升一合四句でに対力が観音事事。「にんとだらなり、正常学を超える案別しい出来製造低の成功選家でも坪一升二合の工程学を超える案別しい出来製造にの表対選家でも坪一升二合

西で来着早く線路の引延しに

|悪山麓||恐山麓直は十四、十五||将足された一周年記念日にも皆る||士を見返る所説の野は雄世観を指 5で飛春早く網絡の引蕉しに「かざして塩缸を埋め、われ等の鴉」【專出網】雲興運公立野連製技で「古順調に雅久五日中に竣工」生純等数千名は手に(〈日堂院を | 氏・心作「風」び「千丁号」

ので自作に関訴を根据し市中の脈 ひも一人で市内谷剛體、有志學校

省長の告辭

望の惠山鐵道

私としては今後は監禅一番部下

満洲地方制度確立の第一步 とる盛大に擧行

告離、李縣長の淵がの後、來近祝長の接野についで左の如き省長の 高無接職職の下に即行、先づ劉宙 祝和政場があつて開式したが

一團體が促進運動を起し

既往の数十年同間原開館の足場と、更を有しまた内部部人にとつては

もなつた祖井の街公園館署のは同一

、龍井西川高町高の出出で銀行

新京中心に移民状況避察の闘!! 概本段學博士 (京都帝大教授)

動

老父を拉

匪賊二人を殺した

移住民若者の嘆き

に一是記貨地番、平谷校長の式籠に始 太田 道語 職員、殿北 中等校代表 命不師既長(杉矶高級金融代理)

**土起出し合い開始中地窓間響され** た、左の七名で手段としく

の理論すると基大であるとが立

準備中であつたが、去る一日面風

大五是川に

郵便所

。 開國大學





性慢急る依 マ疼痛が混退消失する 特殊醫治作用

## 過經療治のノノ

が特に書るしい。
さればパロール服用後の治験認識 服用後の變化

間業登記公告 (資量頭針列車與行。社會雙亞) (資量可以,其人社會經過,在人 實理。依,其人社會經過,在人 實理。依,其人社會經過,在人 實理。依,其人社會經過,在人 是一

日一簣に即行されたが延吉では午川道)の街公園に開業品は去る一

**並田府尹に陳情書** 

「お録すルガノゾルサンター大化学研究所内に於て実施、現化学的操作を対して設施、現化学的操作を対して設施、現化学的操作を対して設施、関学部を解析のに於ては、これを設に發展されて、これを設に發展されて、これを設に受要されて、これを対してある。以てバロードを研げるから、理解は期間の「神疾の関を奏にする助とに、「神解は期間の「神疾」

本語 (本語 ) 和 (本語

進星

也二日午後二時半頃西本町、五 【開城】最近府内の不浪香門。歳 丁名檢界さる

開城の麻雀

製長の指揮下にあつては到底消

の實現に協力すべきことが初る「中 の實現に協力すべきことが初る「中 の實現に協力すべきに、以高 に関する情報の規模、差額上資民代理、以高 に関する時の代表者が差別、結正 の可れも中後の建築に「対す の可れる中後の建築に「対す の可れる一般のに変に「対す の可れる一般のに対する。 の質現に協力すべきことが初る「中 の質現に協力すべきことが初る「中 の質現に協力すべきことが初る「中

特製 許法

**神撃機は煩る迅速である。** 開降苦等の副作用を伴ふ事なく治 開を関する関連である。

▽解尿質を着るしく増加する ▽血尿、糖尿の排泡が止る ▽婦人白幣下が減少する

般日室

の本料

二种敬

2.平宜9

工商會發

島店社社

刊行

所

国民精神登場の上に重大管 の明散日本精神の徹底が高 を注いで顕真し衝く完成さ 本掛脳は日本國民さして、本掛脳は日本國民さして、

慶掛下し く画致と

に限り頒布申込倉員

非責品にして強約會員に限り組布 一門容と 何俊 四六倍判背皮上腹炎水を十三勝宛 一百倉種 平島圏 三十二差六百銭種・一島圏 三十二差六百銭種・

每十四×海×四十段 每册备爱三圈五十段

類編

所賣發

-

會員募集 第二回豫約 新方

容 中見

◇內容形式大改正

三十五錢

透料各八錢

ので、自分で自分の力を置すここが出来ます。それ入學歌籍書となります。用紙となり、家庭では課習、復習の夏書となり、用紙となり、家庭では課習、復習の夏書となり、

本

'n

指

△動物の總でを網羅し系統的に分類、質物 ・ 一大動物學文献の最大收穫! ・ 一大動物學文献の最大收穫! ・ 一人動物學文献の最大收穫!

訂改

Ø

國語と算術

理學博士 吉田貞雄先生監修

實物

学習の基本練習と考査能力の向上

孤社曾武林吉腐肥

金七拾五錢 神道を促すの資料でして対対角のの各方面に対対治、文化の各方面に対対治、文化の各方面に対対の限を以つて、資格の関係政治及が国際対方を対対が、 四六判五百餘頁

同業各位に

取扱店名表御請求次第送呈纒め御用命は特に御便利ご存じます数科書御注文の節簽行元多種に分れる場合お取

好評五版 の誕生期にいきづきついある世の本書に序して「公民科を席じの」図體明徽二依ルの

明朗 定價金五

高高高中

學門

校

準

考科科

校

教 教

文

火

Ny

rļi

東

jes,

橫 次

堀

四

1

Ħ

=

中等教

小學校各種參考

科

書

豫

智

專 等 等

人 小 專

試

受

驗參

書 書 書

字 校 教 官

及川儀右衞門著 最新刊

城市上與全 变 册

一般高品加工

發行所

E

本

振發大阪三四一三二番

發行所 振替次版七九七二十電新町四三六四

竹原文泉社

ジ方式 重

應用機械工作及製圖法

信

蕃

i

美麗·鮮明最--華熙 本社立表要 古法=天地明尺 左右三尺三寸五分 特別頒布 特別頒布 申込版に依り登記 製作不可能につき の申込殺到中大量 十 色 刷プロセス製版

節師等高各良奈・岛廣・京東 筆執摘分生先諸の

成受 功験 成功活點三 満 満 認識點 點 點 算 颤

史 牆 算動地 理

六 鉄 圓價

師好規目

定價金麥圓五拾錢

井

Ŀ

善

占

定價金

光拾

井

上書古

金定七拾

九 史理到 備書

是非日本出版社の準 中學・女學校・實業學校への受験には

仲

西

<u>ල</u> 瓜

祭判二〇〇頁

**适料十四倍** 

史邑先生酱(美雄中战)

學八秋訣

示人格圖頒布會

錢 **没料各四艘** 

等の関係者・一般宗庭等に必備の實籍である等の関係者・一般宗庭等に必備の實籍である。 一般宗庭等に必備の實籍である。 一条の限値圖能に製版得支げにてと質に製造の研究者を必要の原値圖能に製版得支げにてと質に製物の研究者を必要の原値圖能に製版得支げにてと質に製版の研究者を必要の条件的一大胜象である……

算術新參考書

術

Ø

宿

題

國語新參考書

綴方新參考書

断他に分れ

2類、實物通りの極彩色原色大圖斯(も多數の全動物を網羅し系

二通北朝縣西阪大 番三四七阪大諸振

一丁多篇田神京 二九四京東晋

發行所

三町寺堂安區南阪大 三四五一阪大 香 振 Ï 中

しな書類とこるな寧丁切懇說解

振 管 話 本

座町

(阪六九番

灾

第八篇 第六篇 第五篇 第第第第 四三二一 第七篇 古徘和上枕增簍 う園花義保平玉方徒

!!いし詳!!くし正!!く易り分も最

廣島高等師範學校訓導 廣島高等師範學校訓導 II. 正しい国 地

正し、理科の學び方語を発 理の學び方条派除機 北川若松先生著 來先生著 五。六年用 六年用

堂本印象

五版本標 極端用準 の完全なる解説

十 並 支 定 仮 金 変 回 一 数 に 仮 金 を 回

は本書に依りて成る。

と設計製作法

Æ 治 油 定價 金

月 大阪市南區大寰寺町西ノ丁 199 元 中等 東京市神田區館町三ノー七 東京市神田區館町三ノー七 198 瀬田県中等教育者500選至2013年545、本安一州の熟灘148 象皇堂

一段式精解

高等 科 教 控 山下 賤夫者 四於 的 美 獎 | 定價各金三十五錢 國文標準問題の三

現代文標準問題の三段式精解 

錢拾譽圓壹各價定

史の學び方 中山榮作光生著 (選輯)八

式株 五一ノー町銀區田幹市京東

圖案研究

母士 尾 上 柴 舟 先 生 皆 日 上 柴 舟 先 生 皆 日 上 柴 舟 先 生 皆 道

摳

体千字文

所行發

著生先役井 官學督省部文 樱

**銭六十料送・圓貳金價定・頁餘百三・スーロク總製上判**菊

發行所 振替來京上八十六四點 受職 研究士

長田教育研究會編集定價金臺團中鐵灣 超和十一年度、準體用 定價金臺團(<sup>沒</sup>群 2018 學習根柢解法の物理學 原市郎先生著 定價金臺圖貳拾錢 選

受験研究社編輯部編纂 昭和十一年施行 | 夏 | 第二部用金菱圆五丝器 ||金针尖 全國罪人學試験問題の解答 一國師範學校入學試驗解答時問題果

新町但四〇二擬首大阪六三八〇五、 阪 市 西 區 島 津 町 五 番 地 T 丈 Æ

and 監修 金子後要奉版 定 優 武 圖 (科)外地四十九銀

回案文字大

۱ 9

后 **店** 音

列急特超な

ら一先づ京祭間を連轉、明年度は安果まで延 れる暫で十日前後京参問から京義線にかけて

供を避けんとして

出た時、民産して来た砂に週N外 開発とが目標に乗って電讯道に 四日午後五時五十分京城近江通り

(運輸手金焼水石) に限

では眼前で同発電解人河内及三

命中・四名は重傷

全部で約五十回位の提供があった

れた個へ魔禁御行電脳第二六〇関

**東軍なもの、一體に天年は京に織の解釈事を同様** 

部特急別車は匹限の通り四月車回と翻城市

龍池鎮印と結婚して昭和五年五一と観念して今度は男が威術となっ

念四数さんは開展原本町三八一したが、千六百組は収ら

予和言葉と述の組合を思く、た一起生」と女を被告として質子問題 長女妻子が出張たが、家庭は職一て「子供の银子は俺のものだから

三車が衝突

漢江通で事故

家に掘り正式に避済の上、襲費|

りかねて昨年四月子供を逃れて

がり態上六日にすつかり整備し、面の同様は、底に朝鮮航鮮事業との理念を急いでゐたが大飛出來「牛島未曾有の風水池に對する各方

五英國を被害各道に配布した - 京城大和町、南山町方面の動めたが、第三國分として今回更に十一な無常原體をごつもあげ無許可

**卅萬圓を災害地へ配布す** 

十月十五英国を被告各道に配布し一則宮晋一郎。だの二人はいて加減

, O'N'VENERGE D'Y ROCCOSTOR D'ANDESCONS O'N' VENERGER D'A' D'ANDESCONDE L'A MANIMONDE D'A MANIMONDE

三等風の天井には新サービスとして層風概が取

父母が離婚して仲に挾まる

手切れ金と子供返せの訴訟合戦

動揺が少くて壁心地は上々の軽快さ、しか

たが、同般を横行けさせる後川能

風水害義捐金が續々と集る

で、低物は全部地壁から横頭しをこるので、その此類と相俟つて湿ら 船の一階。即ち上甲板へ乗 て立歌に國際部のしい威密を強へ て完成する空である。 別角から二階。即ち上甲板へ乗 て立歌に國際部のしい威密を強へ て完成する空である。

ープリッチで歌字は、さる、この立脈な新しい股質が自しい。雄音を合から登記

國際港にすつかりお化粧

十六日、のぞみ、の客が玄海へ處女航

・ブリッチで汽車から船へ

今「二つの農村」「則職」:祖の地する事になり、職官局で作奠せ 徹底を図るは世最、続き界を利 城連行局分草局では配易保険の

京城の傳染病

本府特度各局所で、 ▲本綱門三人 三六人・▲日豆城府内先(門) 大い通り(括脳内は前年間月

田前鐵相

原棚氏が朝鮮に來て三日目の戦

ないチャームがあるより、「君あの臘の線は何んともいい

包まれて明月館の夜は更けて行

れたら惚れましたとはつきり書「爨なことをいるな、月揃に始

「君々質になめらかだ、僕は今

簡保宣傳の 紙芝居

仲々好評だ

總體は减少だが

綺麗な手 で有名になつた 月徹に美ひたがら敬扱の傍に坐 お描きになるといふんじせらいあたしをモデルにして観でも

> その晩日来高橋敬授は朝鮮に永…0――0… の治験を仰ぐ凡ゆる婦人に最高

の選光を見出すことも

させて見れば臨るな過光のなど

宇治山田の

**治德則)土産物商店出二光学等** 恩氏万から出火生護務製造 市山田市全田<br />
※町(四日) 旧常語 四日平时三年四

役の観察はかくの知り

した地であるため神宮印鑑

灵.

服三十国 ツヅキ裏毛服八関より

航空被服裝價

備削屋チフス

説向、基大的影響院に入院的原中 の客、片雕地氏(\*\*)は去るす九日 で 京城長石川町備田屋薫町に投稿中 五九頭越、賣買頭敷一八九頭越。高年は刺華園月に比し入場頭敷一八九頭敷

剛スケッチ展

七日から三越で

多田畵伯が金

化西の墓、職家/ たら 今日の天気

の金剛山を接跡、作品製作中に対しよ事になった米値中の参田製三高田は日下殿村一ににビックリ、 二月茂州山路鮮中二一中の成置式の通り 故母堂のしめやかなお通夜

とのまい市ケ谷刑務所

各町總代ら集めて

西大門書言は木解供の帰慮事 | 好來事者成績次の通り

府民館と耐ん当京城太平通りに異

**年間の五六二一駅自動車で警視廳大時五十五分動留訳館を終り、検察大時五十五分動留訳館を終り、検察された前驟相内的僧也氏は、午後** の小和、川州宅南港雄に附近

贈収賄の四氏 れた(慰賞は内田氏

宅を続りが附金を贈ってゐたこと 京城大和町、南山町方面の動め人

【東京電報】内田氏の起訴と同

**胎側の飛鳥観社長ならびに西松祖** 八是那種林米士(天)高量了李年五 十六日帰制収をされた唯一

勝備罪、昭和庁所総代総士経改一あから

- たと語も失磁・子供が再変して、子供が中に姓んと私途行長 | に難に発まつて関れた、原製品はしいのて裁判所を扱いせてある 能もに極難機能に収容、手質中で 觀畵伯の作品頒布 近く來鮮の大智勝

の一般に駆きは取調べを行つてゐるの。」という、一般に取調べを行ってゐる。」ともに平は、「あるが、子供のととて四名とも正

識の些及祭につき其體化に打合せ 著語語指に管内町総代役はも果め と主題感し、四日午後一時本

一種が蛤町を検案中、野北生れ様大 **登浦一〇八菱方に止宿中、同居人** 時川京城西大門署の特別流数は

質、ジャケッ、時間など銀四十個



特別政利手響に確取基 第十回鞘取會縣

特別高價買入門物券割引十二回 脚中込実第即時成品的報パンフレット 匈語はナク風安ク田中越アレ 稱改事商 會式株券



版 館 長羽徳端在使利自 寛珠輝慶井町一ノ七〇 原珠輝慶井町一ノ七〇 明二十銭至一側五十 第二人以上は他間 日本 店 員 計感前後受無ある部 保証人を受す直督斗後 保証人を受す直督斗後 9受けたし。一種では、一種の一四年を一一八八一種の一四年を一一年の一年の一年の一日

極落、利札落、買付の絕任期間等關取(貸付利用)

市本上七八番

是此利、日本一段五厘百岁 在原豊富、寶賀共大勉强

債

中商規模技术や産業者の内部人工もある者根田和生産に受験がある。 な者根田和生産に会験がありたし、 の者根田和田田一日 ・市場所を制定の登録がありたし、 では対するのでは、 ・市場所を制定して、 ・市場所の、 ・市場所を制定して、 ・市場所を制定して、 ・市場所を制定して、 ・市場所を制定して、 ・市場所を制定して、 ・市場の、 ・市場の ・市。 ・市場の ・市場の ・市。 ・市場の ・市。 ・市場の ・市。 ・市。 ・市。 ・市。 店員採用 天門より約二丁で京城登泰町一ノ、八

アントを 一般 在庫 半線を新入り(作業1011部)

買









研究社通信學部

金















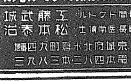


東京麵町富士見町五









经进行进

的容易亦進星

門野へかそご両甲込み下さい。

壹海月

院病人婦城京 ルトクド問題 主 博賞医 長続

で行月無八弦星

MĒ

品品品

薬局・

第1214 第十四 第十四

時代の勝利は

英語實力者へ!!

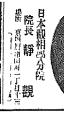
"。 定要描言

真他一般皮膚病の疾薬のないと

一 病。







木暮保次商店

(純毛)セーラズボン 三十乘馬榜 二圓五十錢・三







朝鮮汽船出帆廣告

一月西通東七回

九州郵船鹽出張所

+

九州郵船株式會

シャバンマーリスルピオーロー に川 慶 田 組